

第55回全国聾学校卓球大会青森大会 成功裏に終了
御協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

青い森から響く歓声を 力に変え 1球に思いをこめて
～平成っ子 競い合う仲間であれ～

高3 山田彩花さん 作

《来賓 参加された方々の声》

- ・司会の生徒さん(高2澤田結奏さん)すごいですね。本校の生徒には無理です。堂々としてとても立派でした。感動しました。
- ・歓迎のことば(高3山田彩花さん)はとても落ち着いていて、大人のような挨拶でした。みなさん、とても立派でした。すごいですね。
- ・開会式の始まりから生徒さんの立派な言葉(高3安田茉由さん)で終わりの堂々としていて(高3中田智子さん)びっくりしています。
- ・選手宣誓の生徒さん。(高3小田切彩佳さん)私の目をじっと見て堂々と宣誓して、ああ代表となる生徒さんだなあと感動していました。気持ちが伝わってきました。
- ・開会式は生徒が主役となっていてとても良かった。みんな立派で驚いた。

青聾祭が終わり、技能検定があり、そして、全国卓球。高等部の生徒は目の回る忙しさでした。練習時間もあまりなかったですが、日々の学習の成果です。全国の舞台上で堂々と司会、開会式、歓迎のことば、選手宣誓、閉会式を述べてくれました。また、プラカードを作成してくれて他校の選手を誘導してくれた中・高の生徒たち。みんなありがとう。みんなの力は素晴らしいです。

《保護者の皆様の御協力》

全国から青森に来る選手の皆さんを気持ちよく迎えたいと、保護者の皆様からさまざまな温かい御協力をいただきました。本当に有り難く、私たち職員は励まされ、頑張る勇気をいただきました。こんなにしていただいた、そのお気持ちに応えなければという思いは人を強くしてくれます。よし、頑張るぞと……。りんごと青森のお菓子の詰め合わせを参加した全選手に、そして、大会を終え帰るときも、ねぶた囃子が流れる青森らしさのなか、ねぶた衣装で賑やかに送り出す。おもてなしってこういう気持ちのことだなあと感じました。ありがとうございました。職員一同感謝しております。

《さまざまな方のお力をお借りして》

- ・前年度の大会視察から大会当日まで、全面的に御協力いただいた青森県卓球連盟の久慈佐知子審判長始め協会の皆様。
- ・競技場の準備、審判補助、審判、片付けなど、さまざまな場面で活躍いただいた工業高校、商業高校、東高校、南高校、東奥学園高校、山田高校、青森大学の卓球部の皆さん。綺麗な声でアナウンスしてくれた明の星高校の放送部の皆さん。各校の顧問の先生方。
- ・大会に協賛し応援していただいた皆様、弘聾、八聾のPTAの皆様、会長様、校長先生。
- ・卓球部のコーチをお引き受けいただいた風晴元校長先生。
- ・さまざまなご配慮をしていただいたマエダアリーナの皆様。

そして、教育活動を行いつつ、全国大会業務という激務をこなしてくれた本校職員。

ありがとうございました。この大会に関わっていただいた全ての皆さんにとって、この大会が皆さんのこれからのつながっていくことを願っております。